

第 52 回バレーボール競技実施要項

1. 競技種目

バレーボール6人制競技(男子及び女子の2種目)とする。

2. 競技規則

大会開催年度の(公益財団)日本バレーボール協会6人制競技規則及び本大会申し合わせ事項による。ネットの高さは男子2m43cm、女子2m24cmとする。

3. 出場資格

男女とも、加盟団体単位で2チームまでとする。但し、加盟団体単位でのチーム編成ができない場合は当該ブロックに限り、連合チームを編成することができる。

方法として

- ① 単独チームを組むチームに加入
- ② 単独チームを編成できない加盟団体同士がチームを組んでもよい。この場合、連合であることが明確なチーム名にすること。

男女とも、都道府県各ブロックにおいて、チーム編成が困難、もしくは特別な事情により他ブロックでのチームでプレイを希望する場合は、自ブロックと加入先ブロック双方の体育部長へ確認・許可を得た上で選手参加証明書をろうあ連盟に提出すること。

4. チームの編成

- (1) 1チームの人数は、監督、コーチ含むスタッフ4名、選手12名の計16名以内とする。
- (2) 選手12名のうち、リベロプレーヤーは2名まで登録できる。
- (3) 監督、コーチ、又はスタッフが選手を兼務する場合は選手登録名簿に記載しておくこと。

5. 競技方法

- (1) 予選リーグ戦をおこなった後、勝ち残った上位8チームによる決勝トーナメント戦をおこなう。但し、参加チーム数が多いときは、トーナメント方式とする。
- (2) 予選リーグ戦及び準決勝戦、3位決定戦、決勝戦は、3セットマッチとする。

6. 使用球

(公益財団)日本バレーボール協会検定5号球(カラーボール)とする。

奇数年:男子 モルテン 女子 ミカサ

偶数年:男子 ミカサ 女子 モルテン

7. 組み合わせ

組み合わせは、監督・主将等会議において抽選により決定する。なお、予選ではそのブロックに属する加盟団体チーム同士の対戦は行わない。また男女とも前回優勝・準優勝チームはシードとする。

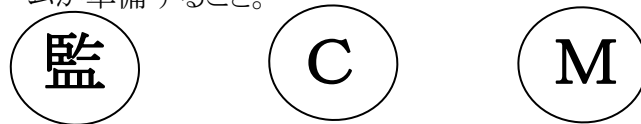
8. 表彰式

- (1) 表彰式は決勝戦終了後に行う。入賞したチームは必ず参加すること。

(2) チームは全員が統一された服装で参加すること。

9. 注意事項

- (1) 試合開始前・セット間及び終了後の手順は別表プロトコールのとおりとする。
- (2) 試合開始は、特に時間の指定のあるものを除き、追い込み方式で行う。なお、同チームの試合が連続する場合は 15 分間の休憩の後プロトコールに入る。
- (3) オーダー用紙は、キャプテンがトスをするとき提出する。
- (4) 公式練習からはエントリーされた者だけが競技場に入場できる。
- (5) 負傷の原因となるピン、指輪、腕輪、かぶりもの、その他金属装身具等を身につけて競技してはならないが、眼鏡は自分の責任において使用する。
- (6) 主将は、ジャージ色と異なった色の幅2cm、長さ8cmのマークをユニフォームの胸部の番号の下へ明確に付けること。
- (7) 監督・コーチ・マネージャーは下記のマークを左胸部に付けること。マークの大きさは直径6 cm 程度で各チームが準備すること。



(8) フェアプレー

競技者は審判員だけでなく、他の役員・相手チーム・チームメイトさらに観衆に対してもフェアプレーの精神で敬意を示し、礼儀正しく行動すること。

(9)リベロプレーヤーについて

- ①12名の中で1名もしくは2名(リベロリプレイスメント)のリベロについては、試合ごとの変更は可能であり、負傷した場合でも別の選手をリベロとして登録できる。
- ②7名しか選手がいなくても1名をリベロにすることができる。ただし一般のプレーヤーが負傷した場合、リベロが一般のプレーヤーになることができる。

10. 本要項の改正

- ・ 一部改正 2004 年2月 22 日 第6回全国委員会
- ・ 一部改正 2006 年2月 19 日 第8回全国委員会
- ・ 一部改正 2008 年2月 3 日 第3回本委員会
- ・ 一部改正 2009 年2月 8 日 第3回本委員会
- ・ 一部改正 2011 年2月 6 日 第3回本委員会
- ・ 一部改正 2015 年2月 8 日 第3回本委員会
- ・ 一部改正 2016 年2月 6 日 第3回スポーツ委員会
- ・ 一部改正 2017 年2月 5 日 第3回スポーツ委員会
- ・ 一部改正 2018 年2月 9 日 第3回スポーツ委員会
- ・ 一部改正 2019 年2月 2 日 第3回スポーツ委員会